



左から中野監督、佐々木さん、平野さん、棚野町長

3月31日

今秋全国公開予定
映画「シサム」完成披露上映会

白糠町を舞台に撮影された、アイヌ民族がテーマの映画「シサム」の完成披露上映会が社会福祉センターで開かれ、関係者や町民約300人が詰めかけました。

上映後の舞台あいさつでは、中野浩之監督や主演の佐々木ゆかさん、平野貴大さんが登壇。撮影時のエピソードや白糠町での思い出などを語りました。また、主演の寛一郎さんのメッセージ動画も流されました。

3月23日

令和5年度の演奏収め
吹奏楽ジョイントファイナルコンサート

白糠高等学校吹奏楽部と白糠学園ブラスアンサンブル同好会、白糠吹奏楽団による「吹奏楽ジョイントファイナルコンサート」がウレシパチセで開かれました。コンサートは、白糠学園ブラスアンサンブル同好会の4人による演奏で幕開け。最後は3団体による合同演奏で「アニソンメドレー」や「ジブリメドレー」などを披露し、来場者を楽しませていました。



ジブリメドレーでは、ジブリのキャラクターに扮して演奏



スライドを使って学習内容を発表する生徒

3月21日

1年間の学習の成果を発表
「総合的な探究の時間」発表会

白糠高校の1、2年生が「総合的な探究の時間」で学習した成果や課題を発表しました。

この学習は3年時にビジネスプランを作成するときのテーマを決める参考とするものです。

「自然エネルギー」について学習した2年生のグループは、フードロス減らし、温室効果ガスの発生を防ぐビジネスについての考えを発表していました。

3月19日

「しらぬか郷土かるた」で交流
白糠学園と高校で小高連携授業

互いに白糠の魅力を発信する、白糠学園5年と白糠高校1年の小高連携授業が白糠高校で行われました。

高校生は生徒が作った「しらぬか郷土かるた」を使って交流。かるた後は、白糠学園の5年生が「食の魅力を発信しよう」と題して「しそに含まれている成分」や「羊肉の栄養、種類」などについて調べたことを発表しました。



手作りカルタで交流する高校生と小学生



市川教頭（左）にノートを手渡す山本部長と高橋部長（右）

4月4日

交通安全に役立てて
商工会青年部・女性部が寄贈

商工会青年部（山本哲平部長）と同女性部（高橋志保子部長）は、新1年生への入学祝いにノートと安全傘または防犯ブザーを寄贈しました。

この日は、山本部長と高橋部長が白糠学園を訪れ、市川仁教頭にノートと安全傘を手渡しました。

市川教頭は「大変助かります。児童たちの交通安全にも努めていきます」と感謝していました。

4月4日

新たな生活がスタート
庶路こども園入園式

学校法人二葉学園（漆崎高理事長）が運営する「庶路こども園」の入園式が行われ、1歳の園児4人と3歳の園児1人の5人が新たなスタートを切りました。

式では保護者に手を引かれた園児が笑顔で入場。漆崎理事長は「園に早くなれて、楽しく過ごしてください」と園児たちに語り掛けました。白糠こども園には0歳～5歳児まで17人の園児が新たに入園しました。



保護者に手を引かれ笑顔で入場する園児



JEPLAN取締役 執行役員会長の岩元美智彦氏(左)と棚野町長

3月22日

資源を循環させる
JEPLANと包括連携協定

町と株式会社JEPLAN（ジェプラン）は「資源循環推進に関する包括連携協定」を締結しました。

JEPLANは、使用後のペットボトルから再び高品質なペットボトルをつくる「ケミカルリサイクル」と呼ばれる技術を保有しています。今回の締結により、町が回収したペットボトルをリサイクルし、何度も循環させる「ボトルtoボトル」を展開します。

3月22日

情報発信の手段を増やす
東洋株式会社と包括連携協定

町は、まちの情報誌「Te to Te」を手掛けている東洋株式会社（本社帯広市・角高紀社長）と「地方創生の推進に関する包括連携協定」を締結しました。

本協定により東洋株式会社のコミュニティサイトTON×TON（とんとん）の「推しまち」で、本町の環境への取り組みや子育て支援、食の魅力などが紹介されます。詳しくは上記QRコードからご覧ください。



「推しまち」のポップパネルを手に棚野町長と角社長(右)